

地域医療支援病院業務報告書

令和 6 年 9 月 11 日

(申請者)
横浜市長

申請者 住 所 横浜市神奈川区西神奈川1丁目13番地10

氏 名 社会福祉法人恩賜財団済生会支部
神奈川県済生会
支部長 赤星 透

〔 法人の場合は、主たる事務所の
所在地、名称及び代表者の氏名 〕
電 話 045-423-2301

標記の件について、医療法第12条の2の規定に基づき、令和5年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒 221-0822 横浜市神奈川区西神奈川1丁目13番地10
氏 名	社会福祉法人恩賜財団済生会支部神奈川県済生会

(注)開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 病院名

フリガナ	シヤカイフクシホウジンオンシザイダンサイセイカイシブカナガワケンサイセイカイヨコハマシナンブビョウイン
病院名	社会福祉法人恩賜財団済生会支部神奈川県済生会横浜市南部病院

3 所在地

〒 234-8503 横浜市 港南区港南台三丁目2番10号 電話： 045-832-1111
--

4 病床数(使用許可病床数)

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
0床	0床	0床	0床	500床	500床

5 施設の構造設備

施設名	施設概要
集中治療室	病床数 <u>8</u> 床 (主な設備) 人工呼吸器装置、補助循環装置(IABP)、体外式ペースメーカー、除細動器、人工腎臓装置、血液浄化装置、心電計、心拍出量測定装置 等
化学検査室	(主な設備) 生化学・免疫総合型自動分析装置、臨床化学自動分析装置、免疫発光測定装置、自動グリコヘモグロビン分析計
細菌検査室	(主な設備) 血液培養自動分析装置
病理検査室	(主な設備) 密閉式自動固定包埋装置、パラフィン包埋ブロック作製装置、マイクローム、パラフィン伸展器、自動染色装置、自動免疫染色装置、プレパラート自動封入機、システム生物顕微鏡、蛍光光源システム、ディスカッション用顕微鏡およびディスプレイ、顕微鏡撮影装置、クリオスタット、臓器撮影装置、局所排気装置、プッシュプル型排気装置
病理解剖室	(主な設備) 解剖台、無影灯、臓器写真撮影装置、御遺体用冷蔵庫
研究室	(主な設備) 電子カルテ端末、会議机(3人掛け)6台、椅子18脚
講義室	収容定員 <u>100</u> 人 室 数 <u>2</u> 室
図書室	室 数 <u>1</u> 室 蔵 所 数 <u>3,300</u> 冊程度 雑 誌 <u>53</u> 誌
救急用又は患者搬送用自動車	保有台数 <u>1</u> 台 (内訳: (主な設備)
医薬品情報管理室	【専用室の場合】 床面積 <u>18.55</u> m ² 【共用室の場合】 _____ 室と共有

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

1 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

承認要件	<input checked="" type="checkbox"/> 紹介率80%を上回っている	
	<input checked="" type="checkbox"/> 紹介率が65%を超え、かつ、逆紹介率が40%を超えること	
	<input checked="" type="checkbox"/> 紹介率が50%を超え、かつ、逆紹介率が70%を超えること	
紹介率 ※患者数は延べ人数	$\text{①} / \text{②} - (\text{③} + \text{④} + \text{⑤})$	86.5%
	①紹介患者数	17,008人
	②初診患者数	30,110人
	③地域公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬入された患者の数(初診に限る)	1,702人
	④休日又は夜間に受診した救急患者の数(初診に限る)	7,801人
	⑤健康診断を目的とする受診により、治療の必要性を認めて治療を開始した患者の数(初診に限る)	937人
逆紹介率 ※患者数は延べ人数	$\text{⑦} / \text{②} - (\text{③} + \text{④} + \text{⑤})$	92.7%
	⑦逆紹介患者数	18,242人

救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急関患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

職種	人数	職種	人数	職種	人数
医師	235人	歯科医師	6人	看護師	65人
薬剤師	34人	臨床検査技師	41人	臨床工学技士	12人
診療放射線技師	32人	保健師	0人	看護補助者	0人

(注)非常勤医師等、常勤換算で記載すること。

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	8床
専用病床	8床

(注)一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
救急センター	339.5 m ²	心肺蘇生装置、除細動機、人工心肺装置(PCP S)、心電計、超音波診断装置、ニューポートベンチレータ、生体情報モニタ 等	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
集中治療室	349.16 m ²	人工呼吸器装置、補助循環装置(IABP)、体外式ペースメーカー、除細動器、人工腎臓装置、血液浄化装置、心電計、心拍出量測定装置 等	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
一般XP撮影室	335.11 m ²	一般X線撮影装置	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
CT室	123.87 m ²	320列ヘリカルCT、80列ヘリカルCT	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
MRI室	136.1 m ²	1.5テスラMRI 2台	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
心臓カテーテル室	169.88 m ²	循環器系X線診断装置 心肺蘇生装置、除細動機、人工心肺装置(PCPS)、心電計、生体情報モニタ 等	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
手術室	808.1 m ²	麻酔器、全身麻酔管理システム、人工心肺装置、電気メス、自己血回収システム、骨切用電動モーターシステム、手術用顕微鏡、術中用超音波診断装置 等	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>

4 備考

横浜市二次救急拠点病院(A)
横浜市小児救急拠点病院
横浜市産科拠点病院
地域周産期母子医療センター

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。すでに、救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について(昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知)に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績【(1)又は(2)のどちらかを選択し記入すること】

(1) 救急患者数

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	9,203人
	(5,885人)
上記以外の救急患者の数	6,269人
	(3,618人)
合計	15,472人
	(9,503人)

※括弧内は、初診救急患者数

(2) 救急医療圏(2次医療圏)人口における救急搬送者数割合

A : 救急用又は患者輸送用自動車により搬送した救急患者の数	9,203人
B : 救急医療圏(2次医療圏)人口 [※]	3,768,664人
C : $A/B \times 1,000 > 2$	2.4

※2023年4月1日時点の人口

地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用(共同利用)のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

共同利用を行った医療機関の延べ数	1,242施設
そのうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	1,242施設
医療機器共同利用件数	1,242件
共同利用病床数	2床
共同利用に係る病床の病床利用率	0%

2 共同利用の施設・設備等

医療機器							
コンピューター断層撮影装置(CT)	<input checked="" type="checkbox"/>	磁気共鳴コンピューター断層撮影装置(MRI)	<input checked="" type="checkbox"/>				
陽電子診断装置(PET-CT)	<input type="checkbox"/>	直接撮影用エックス線装置	<input type="checkbox"/>				
核医学診断装置(RI)	<input checked="" type="checkbox"/>	乳房撮影用エックス線装置	<input type="checkbox"/>				
診療用高エネルギー放射線発生装置	<input type="checkbox"/>	骨密度測定装置	<input type="checkbox"/>				
ホルター心電図装置	<input checked="" type="checkbox"/>	消化管内視鏡検査装置	<input type="checkbox"/>				
頸動脈超音波装置	<input checked="" type="checkbox"/>	心臓超音波装置	<input checked="" type="checkbox"/>				
下肢静脈超音波装置	<input checked="" type="checkbox"/>	その他()	<input type="checkbox"/>				
手術室	<input type="checkbox"/>	病床	<input checked="" type="checkbox"/>	図書室	<input checked="" type="checkbox"/>	会議室・講義堂	<input checked="" type="checkbox"/>

(注)当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器機又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

共同利用に関する規定の有無

有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
---------------------------------------	----------------------------

(注)共同利用に関する規定がある場合には、当該規定の写しを添付すること。

※共同利用運営要領 添付 別紙①のとおり

4 登録医療機関の名簿

地域医療支援病院開設者との経営上の関係	有	0施設
	無	428施設

(注)当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

(注)承認要件一開設者と直接関係のない医療機関が現に共同利用を行っている全医療機関の5割以上であること。

地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修内容(研修会等名称、研修内容、開催日、参加医療機関数)

別紙②のとおり

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	13回
(2) (1)の研修参加者数	299人

(注1) 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注2) (2)には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

(1) 研修プログラムの有無	有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
(2) 研修委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
講義室	104.40 m ²	(主な設備) プロジェクター、スクリーン、電子カルテ端末、インターネット端末、マイク設備、会議机(3人掛け)30台、椅子100脚
研究室	24.70m ²	(主な設備) 電子カルテ端末、会議机(3人掛け)6台、椅子18脚
多目的室	68.48 m ²	(主な設備) プロジェクター、スクリーン、電子カルテ端末、マイク設備、会議机(3人掛け)15台、椅子45脚
スキルラボルーム	31.50 m ²	(主な設備) 電子カルテ端末、インターネット端末、プロジェクター、スクリーン、静脈・採血注射モデル I 型、採血・静脈シミュレーター、吸引シミュレーター、経管栄養シミュレーター、心肺蘇生シミュレーター、鏡視下縫合シミュレーター、輸液ポンプ 等

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者(役職名)	院長	
管理担当者(役職名)	診療情報室長	
保管場所		
診療に関する諸記録 (病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約)	<ul style="list-style-type: none"> ・病院日誌 総務課 ・各科診療日誌 各科外来 ・その他の諸記録 電子カルテ上で保管 ・診療情報提供書等の原本は診療情報室で保管 	
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療連携室
	救急医療の提供実績	医事課
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修実績	地域医療連携室
	閲覧実績	図書室
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績数を明らかにする帳簿	地域医療連携室

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者(役職名)	院長		
閲覧担当者(役職名)	診療情報室長		
閲覧の求めに応じる場所	診療情報室		
前年度の総閲覧件数			1件
閲覧者別	当該病院に患者を紹介しようとする	医師	1件
		歯科医師	0件
	地方公共団体		0件
	その他		0件

委員会の開催の実績

委員会の回数	4回
委員会における議論の概要	
<p>1. 第79回 地域医療支援委員会(2023年8月 書面開催)</p> <p>①2022年度事業報告</p> <p>②診療科のご案内(外科・整形外科)</p> <p>2. 第80回 地域医療支援委員会(2023年10月 書面開催)</p> <p>①2023年度事業報告(第1四半期)</p> <p>3. 第81回 地域医療支援委員会(2023年12月25日)</p> <p>①2023年度事業報告(第2四半期)</p> <p>②新任診療科責任者の紹介(外科、整形外科、脳神経外科)</p> <p>③地域医療連携室からの報告</p> <p>④COVID-19の5類感染症移行後の院内体制等について</p> <p>4. 第82回 地域医療支援委員会(2024年3月 書面開催)</p> <p>①2023年度事業報告(第3四半期)</p>	

(注)委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

患者相談の実績

	相談窓口 <input checked="" type="checkbox"/> 患者サポート室 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/>
患者相談を行う場所	「その他」記入欄 がん相談支援センター、かかりつけ医案内コーナー
主として患者相談を行った者(対応者) (複数回答可)	福祉医療相談室 MSW 看護相談室 看護師 入退院支援センター 看護師 MSW(兼務) がん相談支援センター 看護師 MSW(兼務) 地域医療連携室 事務員
患者相談件数	12,554件

患者相談の概要

1 福祉医療相談室

- (1)経済問題調整 (2)診療費減免(無料低額診療事業)
 (3)心理・情緒問題調整(不安・葛藤等) (4)転院支援(リハビリ・療養目的等)
 (5)就労支援(両立支援・復職支援等) (6)外国人支援 (7)在宅療養支援
 (8)受診・入院相談(当院への受診・入院依頼調整)
 (9)通院上の問題(療養の不応・疑問・不安・院内システム等)
 (10)家族問題調整(家族関係・家族の抱える問題等)
 (11)福祉制度の利用(身障手帳・精神障害者福祉手帳など) (12)生活保護調整
 (13)保険・年金制度の利用(高額療養費、障害年金等)
 (14)福祉制度の利用(障害者、難病等) (15)養育問題 (16)虐待 (17)権利擁護
 (18)苦情 (19)その他

2 看護相談室・がん相談支援センター

- (1)病気に関すること (2)治療に関すること (3)症状緩和に関すること
 (4)日常生活に関すること (5)療養の場の選択に関すること (6)医療者の相談
 (7)家族のケア (8)その他

3 患者サポート室

- (1)疾病や治療に関すること (2)療養生活に関すること (3)通院・入院全般に関すること
 (4)医療安全に関すること (5)その他

4 地域医療連携室

- (1)患者さんの自宅付近の医療機関の案内 (2)患者さんにあった専門医療機関の案内
 (3)セカンドオピニオンに関すること (4)医療制度に関すること (5)その他

(注)患者相談の概要については、相談内容を適切に分類して記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が特定されないよう配慮すること。

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類(任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

病院の機能に関する第三者による評価の有無		有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
評価を行った機関名、評価を受けた時期	日本医療機能評価機構 病院機能評価 3rdG:Ver.2.0 2019年3月1日 認定		

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無		有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
情報発信の方法、内容等の概要	<ol style="list-style-type: none">1. ホームページ(随時) 病院概要、受診方法、診療科案内、診療実績、トピックス等2. 一般向け広報誌「なんぶメール」(年2回) 紙面市民講座、診療科・部門紹介、病気について、イベント情報等3. 連携医療機関向け各種案内状(随時) 地域医療連携研修会の報告、診療体制変更等のお知らせ、共同利用機器案内等4. その他 市民公開講座・出張講座等の実施、医療機関訪問等		

3 退院調整部門

退院調整部門の有無		有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
退院調整部門の概要	人員:退院支援担当看護師、退院支援担当MSW 週2回各病棟で退院支援カンファレンスを行い、退院調整支援が必要な患者の把握および患者情報を入退院支援テンプレートを活用し、より円滑な退院調整・支援を実施している。 在宅訪問医、訪問看護ステーション、居宅介護事業所、地域包括支援センター等との連携強化を図っている。		

4 地域連携を促進するための取組み

地域連携クリティカルパスの策定		有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
策定した地域連携クリティカルパスの種類、内容	脳卒中・大腿骨頸部骨折(回復期リハビリテーション病院への転院) 胃がん・大腸がん・肺がん・肝がん・乳がん・前立腺がん (入院治療後の診療連携クリティカルパス)		
地域連携クリティカルパスを普及させるための取組	地域医療連携研修会で協力の依頼(連携先拡大) 連携医療機関向け案内状や訪問による広報		

濟生会横浜市南部病院 共同利用制度運営要領

制 定 平成 15 年 4 月 25 日
最近改正 平成 30 年 7 月 1 日

第 1 総 則

1 目 的

この要領は、濟生会横浜市南部病院（以下「病院」という。）の施設又は医療設備を横浜市港南区、中区、南区、磯子区、金沢区、栄区及び戸塚区（以下「地域」という。）の医療従事者の診療、研究又は研修を目的とした利用（以下「共同利用制度」という。）のために開放し、地域の医療機関との連携の推進及び地域の医療従事者の相互研鑽を図ることを目的とする。

2 共同利用制度

共同利用制度の内容は、次の 4 種類とする。

- (1) 紹介患者診療型共同利用
- (2) 医療器械利用型共同利用
- (3) 研究部門利用型共同利用
- (4) 研修会等参加型共同利用

3 紹介患者診療型共同利用等を利用する医師等の遵守事項

紹介患者診療型共同利用、医療器械利用型共同利用を利用する登録医又は登録歯科医（以下「登録医等」という。）は、病院内においては次の事項を遵守するものとする。

- (1) 利用に際しては、地域医療連携室で受付をしてから利用する。
- (2) 第 2 の 5 により発行された登録医証又は登録歯科医証を必ず着用する。
- (3) 病院内の諸規則を遵守する。

4 報酬等

- (1) 共同利用制度を利用する登録医等に対しては、その目的に鑑み報酬等は支給しない。
- (2) 共同利用制度の実施により生じた事故等については、別途協議のうえ対応する。

第 2 医療機関等の登録

1 事前登録

共同利用制度は、研修会等参加型共同利用を除き、その利用にあたっては事前に登録をしなければならない。

2 登録名

共同利用制度の利用登録名は、医療機関名又は保険薬局名をもって登録するものとする。

3 登録の対象医療機関等

共同利用制度において登録できる医療機関又は保険薬局（以下「医療機関等」という。）は、横浜市港南区、中区、南区、磯子区、金沢区、栄区及び戸塚区に所在する医療機関等とする。

4 登録の申請

- (1) 共同利用制度の利用登録を行おうとする医療機関等は、「共同利用制度登録申請書」により病院長に申請するものとする。
- (2) 病院長は、申請内容を審査し利用登録を承認した場合は、「共同利用制度登録機関名簿」にその登録機関の名称、所在地、共同利用制度を利用する医師又は歯科医師の氏名等を登録するものとする。

5 登録医証、登録歯科医証及び登録機関証の発行

- (1) 「共同利用制度登録機関名簿」に登録された医療機関の登録医又は登録歯科医に対しては、登録医証又は登録歯科医証を発行する。
- (2) 「共同利用制度登録機関名簿」に登録された医療機関又は保険薬局に対しては、登録機関証を発行する。

6 登録内容の変更

- (1) 「共同利用制度登録機関名簿」に登録された登録医等を追加するなどその内容を変更する場合には、「共同利用制度変更登録申請書」によりその変更を行うものとする。
- (2) 変更申請がされた場合の処理については、申請時の場合の処理に準ずる。

7 登録医証等の返還

登録の必要がなくなった医療機関等は、病院長に対しその旨申し出をし、登録医証、登録歯科医証及び登録機関証を返還しなければならない。

8 登録の取消

登録医等に医師又は歯科医師としての品位を損するような行為のあったときは、病院長はその登録を取り消すことができる。看護師、薬剤師その他の医療従事者において品位を損するような行為のあったときも同様とする。

第3 紹介患者診療型共同利用

1 紹介患者診療型共同利用の内容

地域医療機関から紹介され入院した患者の診療について、かかりつけ医である登録医等と病院内主治医とが共同して、随時当該患者の検査、処置又は指導を行うことにより、退院後のかかりつけ医の円滑な診療につなげることを目的とした診療型の共同利用をいう。

2 利用できる対象者

当該共同利用を利用できる医療従事者は、登録された医療機関の登録医等とする。

3 共同利用のための専用病床

当該共同利用のための専用病床として2床を確保する。

4 事前調整

紹介入院となった患者に対して当該共同利用を行おうとする登録医等は、あらかじめ地域医療連携室に連絡し、病院内主治医と事前調整をしなければならない。

第4 医療器械利用型共同利用

1 医療器械利用型共同利用の内容

地域医療機関が検査目的で紹介する患者の検査について、かかりつけ医である登録医等と病院内主治医とが病院内の医療器械を共同利用することにより、検査後のかかりつけ医の円滑な診療につなげることを目的とした共同利用をいう。

2 利用できる対象者

当該共同利用を利用できる医療従事者は、登録された医療機関の登録医等とする。

3 対象医療器械

当該共同利用として利用できる医療器械を使用して行う検査は、別表のとおりとする。

4 事前調整

検査目的で紹介した患者に対して当該共同利用を行おうとする登録医等は、あらかじめ地域医療連携室に連絡し、病院内主治医と事前調整をしなければならない。

第5 研究部門利用型共同利用

1 研究部門利用型共同利用の内容

病院の研究部門の機能を登録医療機関等の医療従事者のために開放し、登録医療機関等の医療従事者の研究活動を支援するとともに、必要によりその研究活動に対し互いに連携し、その研究活動を進めるもので、地域医療従事者の資質向上を図るための共同利用をいう。

2 利用できる対象者

当該共同利用を利用できる地域医療従事者は、登録された医療機関等に勤務する医師、歯科医師、看護師、薬剤師その他の医療従事者とする。

3 対象研究部門

当該共同利用のために利用できる共同部門は、図書室とする。

4 利用時の手続等

- (1) 図書室の利用にあたっては、登録医証、登録歯科医証又は登録機関証を提示し、当該室所定の手続を行って利用するものとする。
- (2) 図書室の利用については、個人情報以外の情報等に限るものとする。

第6 研修会等参加型共同利用

1 研修会等参加型共同利用の内容

病院が行う研修研究活動を地域の医療従事者に開放し、地域医療従事者とともに連携しながら研修研究活動を進めるもので、地域医療従事者の資質向上を図るための共同利用をいう。

2 利用できる対象者

当該共同利用を利用できる地域医療従事者は、地域の医療機関に勤務する医師、歯科医師、看護師、薬剤師その他の医療従事者とする。

3 対象研修会等

当該共同利用のために利用できる研修会等は、次のとおりとする。

- (1) 公開 CPC、月例 CPC、臨床カンファレンス、学術講演会その他これに類する研修研究活動
- (2) 病院各診療科が開催する各科症例検討会、研究会又はこれに類する研修研究活動
- (3) 病院の看護部、医療技術部門又はその他の部門が開催する研修研究活動
- (4) 記念的行事として行われる講演会その他これに類する研修研究活動

4 利用時の手続

当該共同利用により開催される研修会等を利用しようとする地域医療従事者は、開催された研修会等会場に備え付けの利用簿に必要事項を記入するものとする。

附 則

(施行日)

- 1 この要領は、平成 15 年 4 月 25 日から施行する。
- 2 この要領は、平成 30 年 7 月 1 日から施行する。

別表

第4 医療器械利用型共同利用－3 対象医療器械

対象検査名

(1) CT
(2) 冠動脈 CT
(3) MRI
(4) 骨シンチ
(5) 心臓超音波
(6) ホルター心電図
(7) 下肢静脈超音波
(8) 頸動脈超音波

共同利用制度登録申請書

年 月 日

済生会横浜市南部病院共同利用制度運営要領の規定に基づき、共同利用制度を利用する医療機関等としての登録を申請します。

登録する 医療機関 又は保険 薬局	所在地	〒 —			
	名称				
	代表者氏名				
	電話番号				
	F a x 番号				
	E - m a i l				
共同利用 制度を利用する医 師又は歯 科医師の 氏名等	1	ふりがな	男女	年 月 日生	(診療科)
	2	ふりがな	男女	年 月 日生	(診療科)
	3	ふりがな	男女	年 月 日生	(診療科)
	4	ふりがな	男女	年 月 日生	(診療科)
	5	ふりがな	男女	年 月 日生	(診療科)
※病院事務処理欄					

共同利用制度変更登録申請書

年 月 日

済生会横浜市南部病院共同利用制度運営要領の規定に基づき、共同利用制度の登録内容を変更したいので申請します。

登録する 医療機関 又は保険 薬局	所在地	〒 —			
	名称				
	代表者氏名				
	電話番号				
	F a x 番号				
	E - m a i l				
共同利用 制度を利用する医師又は歯 科医師の 氏名等	1	ふりがな	男女	年 月 日生	(診療科)
	2	ふりがな	男女	年 月 日生	(診療科)
	3	ふりがな	男女	年 月 日生	(診療科)
4	ふりがな	男女	年 月 日生	(診療科)	
5	ふりがな	男女	年 月 日生	(診療科)	
※病院事務処理欄					

登録医証

登 録 医

医療機関名

医師名

医療機関住所

済生会横浜市南部病院

登録歯科医証

登 録 歯 科 医

医療機関名

歯科医師名

医療機関住所

済生会横浜市南部病院

登録機関証

登 録 機 関

機関名

住 所

済生会横浜市南部病院

2023年度 地域医療従事者に対する研修実績

地域医療連携研修会

実施月日	時 間	場 所	研 修 テ ー マ	講 師	参加者数
5月11日	19:00~20:30	Web開催 Zoom配信	第122回 カリキュラムコード: 9(医療情報)・12(地域連携)・0(最新のトピックス・その他) 「各科診療科の紹介・最新のトピックス」	各診療科責任者	院外 16名 院内 61名
7月13日	19:00~20:30	ハイブリッド開 催 講義室 ・ Zoom配信	第123回 カリキュラムコード: 15(臨床問題解決のプロセス)・29(認知脳の障害)・61(関節痛) 「2年次研修医による症例発表」 「済生会横浜市南部病院整形外科の紹介と取り組み」 「整形外科疾患術後リハビリテーション ～TKA・膝周囲骨切り術を中心に～」 「当院における膵癌の外科治療について」 「膵臓手術後の糖尿病患者さんの生活をシュミレート！ ギリギリを攻める糖尿病治療！」	整形外科 リハビリテーション技術部 外科 糖尿病・内分泌内科	院外 16名 院内 61名
9月14日	19:00~20:30	ハイブリッド開 催 講義室 ・ Zoom配信	第124回 カリキュラムコード: 72(成長・発達の障害)・16(ショック) 「2年次研修医による症例発表」 「小児虐待予防は産科から」 ～気になる妊婦連絡会の活動について～ ～小児救急看護認定看護師としての役割～ 「ショックの一例」	産婦人科 入退院支援センター 救急診療科	院外 14名 院内 68名

実施月日	時間	場所	研修テーマ	講師	参加者数
11月9日	19:00~20:30	ハイブリッド開催 講義室 ・ Zoom配信	第125回 カリキュラムコード: 27(黄疸)・39(鼻漏・鼻閉) 「当院における膵癌治療 がん遺伝子パネルを用いたゲノムプロファイリング検査への試み」 「膵臓EUS-FNA検体の病理組織診断に至るまで ～がん遺伝子パネル検査を見据えた検体取り扱い～」 「内視鏡観察下の咽頭・喉頭病変 慢性副鼻腔炎に対する生物製剤治療」	消化器内科 病理部 耳鼻咽喉科	院外 18名 院内 46名
1月11日	19:00~20:30	ハイブリッド開催 講義室 ・ Zoom配信	第126回 カリキュラムコード: 1(医師のプロフェッショナリズム)・19(身体機能の低下) 「慢性心不全の治療 ～最近のトレンド～」 「心不全患者への服薬指導」 「進行期肺がんの薬物治療」	循環器内科 薬剤部 呼吸器内科	院外 16名 院内 72名
3月14日	19:00~20:30	ハイブリッド開催 講義室 ・ Zoom配信	第127回 カリキュラムコード: 10(チーム医療)・36(視力障害、視野狭窄) 「小児循環器外来での取り組み」 「検査室で行う小児循環器に関する検査のご紹介」 「南部病院における低侵襲緑内障手術」	小児科・新生児内科 臨床検査部 眼科	院外 20名 院内 47名

2023年度 地域医療従事者に対する研修実績

その他

実施月日	時 間	場 所	研 修 テ ー マ	講 師	参加者数
6月19日	18:00~19:00	講義室	<p>2023年度 第1回感染防止対策合同カンファレンス</p> <p>1. ディスカッション</p> <p>①薬剤耐性菌分離状況について</p> <p>②その他感染症発生状況について</p> <p>③抗菌薬使用量について</p> <p>④院内感染対策について</p> <p>2. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023年度感染防止対策合同カンファレンススケジュールについて ・感染防止対策合同カンファレンス・新興感染症訓練 南部病院からの連絡フローについて ・抗菌薬や感染症の相談窓口について 	<p>参加病院</p> <p>朝倉病院</p> <p>長田病院</p> <p>関東病院</p> <p>港南台病院</p> <p>横浜医療福祉センター港南</p> <p>堀越医院</p> <p>黒沢クリニック</p> <p>矢崎小児科</p> <p>横浜みなと呼吸器内科・内科クリニック(港南区医師会)</p> <p>港南区福祉保健センター</p> <p>済生会横浜市南部病院</p>	<p>院外 23名</p> <p>院内 9名</p>
7月5日	19:00~20:30	ハイブリット開催 研修棟2階 会議室 ・ ZOOM配信	<p>第39回横浜市南部病院小児科医療連携集談会</p> <p>演題発表～南部病院に紹介された患者さんを中心に～</p> <p>①「下肢の脱力で発症した脳脊髄炎の2歳男児」 ～フジタコドモクリニックよりご紹介～</p> <p>②「咽頭後間隙に気腫を認めた歯ブラシ外傷の2歳女児」</p> <p>③「溶血性貧血の2症例」 ～スマイルこどもクリニックよりご紹介～</p>	<p>済生会横浜市南部病院</p> <p>小児科・新生児内科</p> <p>小児科・新生児内科</p> <p>小児科・新生児内科</p> <p>小児科・新生児内科</p>	<p>院外 16名</p> <p>院内 9名</p>
9月25日	18:00~19:00	講義室	<p>2023年度 第2回感染防止対策合同カンファレンス・新興感染症訓練</p> <p>1. 感染防止対策合同カンファレンス</p> <p>①感染症の発生状況や薬剤耐性菌分離状況について</p> <p>②抗菌薬使用量統計について</p> <p>2. 新興感染症訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワンピース型防護服の個人防護具の着脱手順について 	<p>参加病院</p> <p>朝倉病院</p> <p>長田病院</p> <p>関東病院</p> <p>港南台病院</p> <p>横浜医療福祉センター港南</p> <p>黒沢クリニック</p> <p>堀越医院</p> <p>矢崎小児科</p> <p>横浜みなと呼吸器内科・内科クリニック(港南区医師会)</p> <p>港南区福祉保健センター</p> <p>済生会横浜市南部病院</p>	<p>院外 24名</p> <p>院内 7名</p>

実施月日	時間	場所	研修テーマ	講師	参加者数
12月13日	19:00～20:25	ハイブリット開催 研修棟2階 会議室 ・ ZOOM配信	第40回横浜市南部病院小児科医療連携集談会 演題発表～南部病院に紹介された患者さんを中心に～ ①「腹痛を主訴に受診した肺分画症の11歳男児例」 ②「不明熱の精査で急性巣状細菌性腎炎と診断された2症例について」 ～ふくお小児科アレルギー科よりご紹介～ ～ねぎし泌尿器科・内科よりご紹介～ ③「当院に救急搬送された薬物過量内服の3症例について」 ～かわなこどもクリニックよりご紹介～	済生会横浜市南部病院 小児科・新生児内科 小児科・新生児内科 小児科・新生児内科 小児科・新生児内科	院外 22名 院内 7名
12月18日	18:00～18:45	講義室	2023年度 第3回感染防止対策合同カンファレンス 1. ディスカッション(職種ごとの分科会) (医師) ①流行性感染症の発生状況について ②抗菌薬の適正使用について (看護師) ・感染症発生状況と院内感染対策について (薬剤師・臨床検査技師) ・J-SIPHEの登録、レポート活用法について 2. その他 ・2023年度感染症・抗菌薬等データ提出スケジュール変更について	参加病院 朝倉病院 長田病院 関東病院 港南台病院 横浜医療福祉センター港南 堀越医院(港南区医師会) 黒沢クリニック 矢崎小児科 港南区福祉保健センター 済生会横浜市南部病院	院外 19名 院内 8名
1月29日	17:30～19:00	ハイブリット開催 研修棟2階 会議室 ・ ZOOM配信	2023年度 救急定期症例検討会 症例1:「rt-PA療法を施行され軽快した脳梗塞患者の74歳男性例」 症例2:「けいれん重積状態で搬送された7歳女児」 症例3:「腹痛主訴の34歳女性」 症例4:「食後数時間後に覚知されたアナフィラキシーショック患者の1例」 症例5:「外傷性CPAの1例」	磯子消防署 南部病院 脳神経内科 磯子消防署 南部病院 小児科・新生児内科 港南消防署 南部病院 産婦人科 金沢消防署 南部病院 救急診療科 戸塚消防署 南部病院 救急診療科	院外 72名 院内 14名

実施月日	時 間	場 所	研 修 テ ー マ	講 師	参加者数
3月18日	18:00~18:45	講義室	<p>2023年度 第4回感染防止対策合同カンファレンス</p> <p>1. ディスカッション(職種ごとの分科会)</p> <p>(医師)</p> <p>①抗菌薬の使用量の推移、使用抗菌薬について</p> <p>②COVID-19、麻疹等流行性感染症の発生状況について</p> <p>(看護師・保健師)</p> <p>①COVID-19の院内発生の動向について</p> <p>②MRSA検出割合の推移、手指消毒の使用状況について</p> <p>(薬剤師)</p> <p>①抗菌薬の使用状況の推移、抗菌薬の系統ごとの使用割合について</p> <p>②COVID-19に使用している治療薬の種類とストック数について</p> <p>(臨床検査技師)</p> <p>①各施設の感染症発生状況や検査実施状況・体制について</p> <p>②迅速検査を行う感染症の発生状況と検査キットの入荷状況について</p> <p>2. その他</p> <p>・2023年度感染症・抗菌薬等データ提出スケジュール変更について</p>	<p>参加病院</p> <p>朝倉病院</p> <p>長田病院</p> <p>関東病院</p> <p>港南台病院</p> <p>横浜医療福祉センター港南</p> <p>堀越医院(港南区医師会)</p> <p>黒沢クリニック</p> <p>矢崎小児科</p> <p>港南区福祉保健センター</p> <p>済生会横浜市南部病院</p>	<p>院外 23名</p> <p>院内 8名</p>